

## 第76回公開講演会（繊維課題）のご案内

主催：日本技術士会近畿本部 繊維部会

共催：日本繊維技術士センター、日本染色加工同業会

1. 日 時：2020年4月17日(金) 13:30～16:30

2. 場 所：大阪産業創造館 5F 研修室E

大阪市中央区本町1-4-5 大阪メトロ 堺筋本町下車、中央線出口①、堺筋線出口②

3. 演題および講師：

### 演題1：阿波製紙株式会社における研究開発について

阿波製紙(株) 執行役員 研究開発部長 横田 博 氏 [ 博士 (工学)、技術士 (化学部門) ]

阿波製紙(株)は1916年(大正5年)に設立後、阿波和紙の伝統を継承し、「紙」の可能性を追求しながら今日の特種紙・機能材料メーカーへと成長・脱皮を続けてきました。

これまで自動車用フィルターメディアや分離膜支持体紙を始めとする機能製品を市場に送っており、特に最近では炭素複合材、無機粉体紙等の材料を自動車やエレクトロニクス機器などのサーマルマネジメント分野や電磁波吸収用途に展開を進めています。

これらは当社のコアコンピタンスを研究開発・生産技術で更に高度化したものであり、その一例と今後の課題を概説します。

### 演題2：低炭素社会に向けた繊維産業の手立て

森本技術士事務所 代表 森本 國宏 氏 (技術士 繊維部門)

昨年12月にスペインのマドリードで開催されたCOP25の会合で、国連のグテーレス事務総長は、地球温暖化防止対策が十分進まないことに強い危機感を表明しました。私は1980年代以降、繊維産業の中でも特にエネルギーを大量に消費する染色整理工場の省エネ化に取り組んできました。

「低炭素社会」、「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に向けて今必要なことは、世界の共通の約束である2030年迄に、どれだけの手段、実績が示せるかが問われています。

私は過去10年を振り返り、取り組んできた化石燃料の削減活動から得られた知見を披露して、今後の温暖化防止対策の参考にさせていただきたいと思います。

4. 参加申し込み：

第76回 公開講演会 参加申込書			
4月17日(金) 13:30～16:30 大阪産業創造館 5階 研修室E			
申込内容	参加希望 → 費用2,000円(当日払)	申込期限	4月10日(金)
	資料のみ希望 → 費用1,000円(振込)	CPD区分	B-1 / 単位2.75
	(どちらかを丸で囲む)	所属	JTCC 会員、賛助会員、その他
申込者	(フリガナ) 氏名	勤務先	
	連絡先	(住所) (Tel.)	(メールアドレス)
申込方法	1. JTCC ホームページ <a href="http://www.jtcc.or.jp/">http://www.jtcc.or.jp/</a> の本案内の申込フォームを使用、または 2. 本用紙の参加申込書に記入し、FAX またはメールでお申し込みください。 Fax 06-6484-6575、E-mail: jtcc@nifty.com		
問い合わせ	日本繊維技術士センター(JTCC) 本部 (Tel) 06-6484-6506		
その他	資料請求の方は、資料代1,000円を下記あてにお振込みください。 (振込先) 郵便貯金総合口座(名義) 一般社団法人 日本繊維技術士センター (記号) 14060 (番号) 23829211		

\* 記載された個人情報は、講演会業務上の目的以外には使用いたしません。